

(仮称)自治基本条例を考える会

(会議要旨 第2回 市民・議会分科会)

日時:平成20年7月27日(日) 13:30~16:00

場所:尾西生涯学習センター

出席者:自治基本条例を考える会委員 7名

ファシリテーター 石井伸弘

事務局(企画政策課職員) 2名

大項目	まちを創造する仕組み
小項目	市民参加の機会・実施

会議のまとめ

- ・ 現状では参加する場が用意されていても、参加する市民は少ない。行政・市民いずれが実施する活動においても、市民に伝える仕組みが不十分である。
- ・ 市民活動センターの活用がもっと模索されて良いのではないか。

議論のプロセス

市民の参加を促すために何が必要か

- ・ 現状では、市民の「市民参加」「まちづくり」「ボランティア」といったものへの関心は高くない。
- ・ 「よいこと」だと思っけていても、実際には参加する・行動する人は多くない。
- ・ 市民が参加しやすい場をもっと示してもらえないか。そうすれば、もっと参加しやすくなるはずだ。
- ・ 町内会・NPOそれぞれで取り組めるものがある。
- ・ 行政・NPO・町内会などが様々な場を作っており、市民がまちづくりに参加する場はたくさんある。しかし、伝え方が不十分である。
- ・ まちづくりに対して、こういった会議に参加しないような、普通の市民一人一人がまず理解を深めることが重要だろう。
- ・ あらゆる機会、あらゆる組織がPRをしてはどうか。より具体性を持ったPRが効果的ではないか。

コーディネーターの役割

- ・ 神戸でおきた震災では、コーディネーターが活躍した。災害時だけでなく、日常においても全体をコーディネートする人が必要ではないか。
- ・ 横断的なコーディネートを行政ができないだろうか。

活動する主体性の担保

- ・ 実例として、商店街の活性化に市民は冷めているように見える。一つの要因には、「困った・助けてくれ」もしくは「自分たちでやりたい」という主体性が感じられないからではないか。
- ・ 行政が「こういう活動をして欲しい」ではなく、「自分たちがこれをしたい」という意欲があってはじめて行政からの補助や支援があるべき。

大項目	まちを創造する仕組み
小項目	総合計画によるまちづくり、策定への参加、協働

会議のまとめ

- ・ 条例があって、総合計画がある。条例で定められる4つの原則（住民自治の原則、情報共有の原則、参加の原則、協働の原則）を踏まえて総合計画は作成される必要がある。
- ・ まちづくりの各主体（個人・家庭、町内会・NPO・ボランティア団体、民間企業等、学校、市）が総計の実現に協力する必要がある。
- ・ 総合計画の策定プロセスに市民が参画していることは大変重要なこと
過去の策定プロセスには市民が参画することはほとんどなかった。決まってから知らされていた。
市民の意見は、きちんと市政に反映される必要がある。
- ・ 総合計画の実施段階において、評価・監視する市民組織があることが必要である。
- ・ 住民自治組織としての町内会などは重要なまちづくりの担い手である以上、策定・評価にも参画するべきだ。

議論のプロセス

総合計画の認知度の現状と向上策

- ・ 現状では、総合計画を知っている市民がそもそも極めて少ない。
- ・ 第6次総合計画は今までのものと異なり、市民参加型で策定されている。まずはきちんとこの総計を市民に普及すべき。
- ・ 小学3年生の社会の補助教材に総計を使えないか。
- ・ 市内のNPOの活動は、総計のいずれかの部分と連動している。そのつながりを各NPOのHPなどで伝えることで、より関心を持ってもらえるのではないか。

住民自治組織の位置づけ

- ・ 総計を評価する委員の中に、町内会の仕組みを良く知っている人・つなげることのできる人が入るほうが良い。
- ・ 町内会などは、現状では組織が硬直化している面もあり、担い手として・評価者として、期待しにくい。
- ・ 策定・評価のプロセスにおいて、町内会の人を特別視する必要は無いのではないか。

大項目	まちを創造する仕組み
小項目	住民投票

まとめ

- ・ 住民投票の仕組みは必要である。
議会による間接民主主義を補完する仕組みとして。
- ・ ある一定規模以上の事業規模は住民投票にかけて市民の意見を問う必要がある。
- ・ 住民投票の結果は、議会及び市長は最大限尊重すること。
住民投票の結果を市長や議会が否定する場合も少なくない。住民投票の結果と、議会や市長の判断のどちらが優先されるかは難しい問題だと思われるが、最大限、尊重してもらわなければならない。

議論のプロセス

議会の現状認識

- ・ 現状では、市民と議会の温度差がかなりあるように思われる。
- ・ 議会の議決では、カバーしきれない事案が増えてきているのではないかと。
- ・ 現状では、議員・議会がきちんと責務を果たしていないように思われる。責務を果たすよう、市民がチェックする必要がある。

実施する場合に検討すべきこと

- ・ 議員定数・議員報酬などを議会で決めるのはおかしい。住民投票で決めるべき。
- ・ 住民投票に膨大な費用をかけるのもおかしいこと。議員の改選に併せて実施するなど、費用をかけない工夫が必要だろう。